

女學會は特志家の集りて、必要に應じて設けられたるものにして、其制は私立なれども、女子講習所を監督せらるゝ錦織竹香氏之を監督せらるゝを以て地方人士の女子をして當市に遊學せしめらるゝには實に便利にして又安全なる寄宿舎なり。

役員は

會長 本縣知事金尾令夫人和子

監督 錦織竹香

常置教員、山崎荻江

講師、錦織竹香、外、市内在勤の女教員十七名

書記、伴すい、福原さう、林しう

にして皆公務の餘暇を以て盡さるゝとなり、同會規則及生徒心得等は次號に紹介すべし。

●本會常會 本月一日女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開會せり、詳細は次號に於て報道すべし、

新刊紹介

九十二

●醉人の妻 全一冊 久保天隨筆

細評は後日に譲るとして、こゝに輕薄なる我が文學社會に一異彩を放てる高等小説醉人の妻を紹介するを得るに至れるを喜ぶ。原書に誰も知る教育界の偉人ヘスタロツナー氏の「リーンハルトとゲルトロード」、其教育的價値は何人も知る所、今更贅するの要なし、譯者の筆亦流暢典雅にして、通讀殆んど時の過ぐるを覺えず熱讀玩味すれば、まことに教育者には百千卷の教育書を讀むよりも得る所多きを疑はず。吾人は現今混沌として汚濁せる小説界に此の如き優尙高雅の書の出でたるを歡迎し、獨り教育者といはず獨り社會改良家といはず、不規律亂雜極まりなき方今我邦の一般家庭の諱料として推薦せんと欲するを以て、たとひ譯者の言あるにせよ今少し柔かに今少し通俗的に譯述せられたらんにはなど思へど是れば大望對の感とでも云ふべきにや。(定價六十五錢發行所育成會)

●ジャンダーク 全一冊 勁林園主人編

西洋傑傳の第一篇として、かれて女子の友紙上に續載せしものを纏めて優美なる一小冊子となせるもの、たゞに稀世の烈婦の面影を見るを得るのみならず、又以て當時の世界史の一斑を知るに足る。夏は今や來らんとす、綠蔭の下清流の邊、希くば文藝俱樂部一流の小説を抛ちて、此種の冊子を續かれんことを敢て勸むる

なり、(定價二子錢 東洋社出版)

● 普通育兒法 全一冊

木村鉞太郎著

由來我邦此の如き書籍に乏し、本書は小兒科専門醫としての著者が多年の經驗を積みて著述せられたるもの、特に弘田博士の校園をも經たれば精確なるは論ずるまでもなかるべく、全編總振假名附にして所々圖解を加へ、育兒に關する一切の注意を網羅し盡せるが上に食物の調理までも説明せられたれば、凡そ世の母たらん人々には、是非とも一讀せられたき良書なり。(定價七十五錢 實拂所、金昌堂)

● 兒童候文例 全一冊

國語研究會編

幼き子ども等が候文を書きならふ便りにとて綴られたる者、面白き文題五十有餘を擇びて、載せられたるが、文體の平易なること問題の面白きこと等日本書が從來の著述に比して、優に一頭地を抜けるもの教師の參考用、生徒の賞品用には必適當の書なり。

(實拂所、金昌堂)

● 新撰受驗實典

小學校教員檢定試驗師範中學入學試驗者の便を計りて編纂せられたるもの、第一卷日本歴史問答、第二卷修身教育勸語問答、第三卷日本地理問答已に發刊せられ尙必要な學科目は續々出版せられんとす。各卷悉く問答體を以て必要な項目を説明して泄らすなく殊に携帶に便なる袖珍の小冊子なれば斯道に志す人々には最有益なる良書として推薦す。(定價各卷十三錢帝國通信講習會發刊)

女子の友

姫百合

日本婦人

をんな

女鑑

家庭

日本之小學教師

教育時論

東京市教育時報

教育學術界

教育實驗界

慶應義塾學報

哲學雜誌

彰善會誌

東洋哲學

評釋界

小天地

交通世界

よろづ報知

婦女新聞

婦女新聞

淨土教報

第九十號、九十一號

第三卷第五

第十八號

第四號

第二百二十八、九號

第四、五號

第三卷第二十九號

第五百七十八、九、八十號

第八號

第三卷第一號

第七卷八、九號

第三十八號

第十六卷、百七十一號

第三十八號

第八編第五號

第一期第四號

第一卷第七號

第三號

第五十一、二、三、四號

第四百卅二、三、四、五號

東洋社

姫百合社

帝國婦人協會

大日本女學會

國光社

大日本佛敎婦人會

國民教育社

開發社

東京市教育會

同文館

育成會

慶應義塾

哲學書院

彰善會

東洋哲學會

四海堂

金尾文瀾堂

交通世界社

扶桑廣告株式會社

婦女新聞社

婦女新聞社

淨土教報社

讀者會員諸君諸媛に

謹告す

初號發刊以來非常の曷采を以て歡迎せられたる本誌は早くも茲に半歳の月日を閲しぬ。日誠に淺しと雖も、幸に讀者會員諸君の厚意と不肖編輯員等の微力とに由り、**今や優に女子教育家家庭教育幼兒保育界の一大勢力**となることを得るに至れり。

本誌は今後益諸君の厚意に酬ひ本誌の主張を貫かぬが爲めに漸次改良の歩を進めんと欲し次號よりは聊か體裁を改むる所あらんとす。尙讀者會員諸君、本誌に向つて希望せらるゝ所あらば**本誌は及ぶべきだけ諸君の希望に沿はんと欲する**を以て遠慮なく申し出でられんことを望む。

尙左に次號の要目を紹介す。

次號要目

家庭欄には、**神門ともし子女史の家庭の愉快**、ふみ子氏の**過ぎたる驍方**は共に近來有數の好文
 字、其他**長瀬醫學士の看護法**
 の續稿の他更に**坂井國手の海水浴の衛生**は時節柄是非一讀すべし者たらん。

學術欄には**擊水生の英語俚諺**
解及東海生の蛙の話出づべく、
 史傳欄の**鄭越生のローランド**、
 夫人は巧に慘たる**巴利の恐怖時**
 代を目前に髣髴せしめ**下村教授の**

望東尼

はこゝに本號に完結すべし。其他子ども文苑説林寄書雜錄彙報等例によりて益趣味あり。

米國婦人バラル

ド嬢が我國女子教育家庭教

育等に付きての精細なる

觀察談を掲載せむ。

尙、編輯上の都合に由り來る七、八兩月間に限り、本誌に關する照回、寄稿等は凡べて東京神田區一ツ橋通り町十三番地東基吉宛にて御送附ありたし

會報

明治三十四年五月八日午後二時女子高等師範學校附屬幼稚園に於て幹事會を開き左の事項を決議す。

一會務を分ちて會計係及庶務係の二とし其分擔を定む則ち

(イ)會計係 (野口、森島、林、松村、佐々)

(ロ)庶務係 (清水、雨森、稻石、羽田、神門)

入會

東京ノ部

女子高等師範學校保姆練習科

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

地方ノ部

本郷區森川町一番地丸茂内

赤坂區青山北町四丁目百一

相州横須賀港横須賀小學校

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-----|-------|------|------|-------|-----|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|
| 澤村きみえ | 富岡むめ | 關壽賀 | 海野きみの | 吉田まさ | 中川よね | 矢野ふさよ | 林富美 | 中澤よし | 野村きん | 田邊春 | 大島小春 | 笠井志賀 | 秋山七朗 | 松岡さち | 重田ふち | 平塚貞 | 坂本秋 |
|-------|------|-----|-------|------|------|-------|-----|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|